

〇〇〇〇高等学校 情報モラル授業 指導略案

- 期 日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 1年生×90分×2コマ
- 形 式 講義+実習 (90分)
- 使用機器 スマートフォン 50台, サーバー
- 使用教具 学習プリント (A4版), スライド資料, 教材ソフト (SNS Chat!), IDカード
- 内 容 『SNS利用上の注意点』
- 概 要

LINE やツイッターなどの SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) 利用者が急増する中, 中高生においては配慮を欠いた書き込み等により交友関係の悪化を招くトラブルが起きている。

本授業では, ネットやツールの特徴や仕組みについて実習を通して理解するとともに, コメントのやりとりの中で書き込む個人情報の重要性やネットを利用している相手に対する配慮について取り上げることで, 今後, 各自が安心してネット利用していけることを期待する。

- 目 的
 - (1) SNS の書き込みの状況から, 操作スキル・関心・意欲を確認する。
 - (2) スマホ・タブレット等で撮影された画像には Exif 情報 (位置情報など) が付加できることを確認する。
 - (3) 技術の進歩に見合う正しい知識を身につけることが必要であることを確認する。
 - (4) ネットの向こう側の利用者への配慮をしていくことが必要であることを確認する。

■展 開

段階	指導内容	指導上の留意点
前半 知 恵 を 磨 く	導入 (5分) 0 P1 テスト・スマホ・授業プリント・ID カード配布 1 自己紹介 2 P1 テストの実施と回収 3 本時の目標の提示	・P1 テスト回収
	展開 (35分) 4 SNS 上での情報交換 実習 1 (20分) (匿名の状況の中, 5 人一組のグループで情報交換を行い, 対人の個人情報を聞き出す) 5 収集した情報の得点化 (自己採点) 6 自己採点結果の確認 7 利用履歴の確認① 8 画像データに含まれる情報 (位置情報など) の確認 実演 1	・NG ワードを設定して, 情報交換する ・各自で点数化する。 ・挙手により各自の点数を確認する ・サンプル画像 (Exif 情報の含まれているもの) をアップロードし, GoogleMap との連携により撮影場所が特定できることを確認する。

前半	終末 (5分)	9 まとめ① 「知恵を磨く」領域	・機器はどんどん進化していくが、利用者が正しい知識を持って、上手に利用していくことが大切であることを説明する。
後半 心を磨く	展開 (35分)	10 読み物教材の説明 (SNSトラブル) 11 SNS への書き込み 実習2 (15分) 12 各グループの書き込み内容確認 13 各自スマホの IP アドレス確認 実習3 (5分)	・SNS への書き込みを促すための読み物教材を説明する。 ・グループ毎の当事者意識を持たせて書き込みをさせる。 ・各自のスマホの IP アドレスがそれぞれ異なること、ユーザーエージェントからは端末の各種情報を得ることができることを確認する。
	終末 (10分)	14 利用履歴の確認② 15 ネット上の話題・事件について 16 まとめ② 「心を磨く」領域 17 P2テストの実施と回収	・IPアドレスを頼りに通信記録から書き込みした者が特定できることを確認する。 ・コンビニやバスの事件について解説し、裁判等まで発展している事例であることを説明する。 ・ネット利用においては、他人を思いやる気持ちが必要であることを説明する。

■指導上の留意点

- 1 「聞く」「操作する」「考える」「話しあう」時間帯を明確に区別し、指示を徹底する。
- 2 実習等の切り替えを早くするため、時間計測しながら生徒自らタイムマネージメントを意識させる。
- 3 ログインは、配布した ID カードに記載してある ID を用いる。教材に不具合がある場合、再度、この ID を用いてログインして使用する。
- 4 [実習1] では4～5人一組のグループで SNS に参加し、得た個人情報を得点化することで生徒間のやりとりを促す。
- 5 [実演1] では無意識にアップロード(公開)した画像データの中には、位置情報(経度・緯度)などが含まれていることを説明し、使用機器の設定を確認する。
- 6 [実習2] では、読み物教材の状況をもとにグループ毎のその後の展開を自由に書き込みする。書き込みの展開として、「①話が収束する」、「②話が炎上する」の二分されることが予想される。特に②炎上したグループについては、特に取り上げて解説をする。
- 7 [実習3] では、各自のスマホの IP アドレス及びユーザーエージェントを確認し、インターネットの科学的な理解を促す。また、履歴(ログ)により利用者が特定されることを実体験させる。
- 8 [16 まとめ] では、人(間)として、ネットを道具として利用して他人を陥れたり、追い込んだりすることは絶対にしてはいけないことを強調して説明する。また、被害者と加害者はちょっとした契機で一気に逆転することがあることを説明する。